国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

平成３０年８月２３日
松山河川国道事務所

松山自動車道「（仮称）東温スマートインターチェンジ」連結許可書伝達式を開催します

松山自動車道に直接乗り降りが可能となる「（仮称）東温スマートインターチェンジ」について、国土交通大臣より東温市道との連結が許可されましたので、下記のとおり伝達式を実施します。

○「（仮称）東温スマートインターチェンジ」連結許可書伝達式

日　　時：平成３０年８月２７日（月）１０：００～
場　　所：東温市役所　３Ｆ　第１応接室
出席者（予定）：東温市；東温市長
　　国土交通省；松山河川国道事務所長

○添付資料「（仮称）東温スマートインターチェンジ」位置図

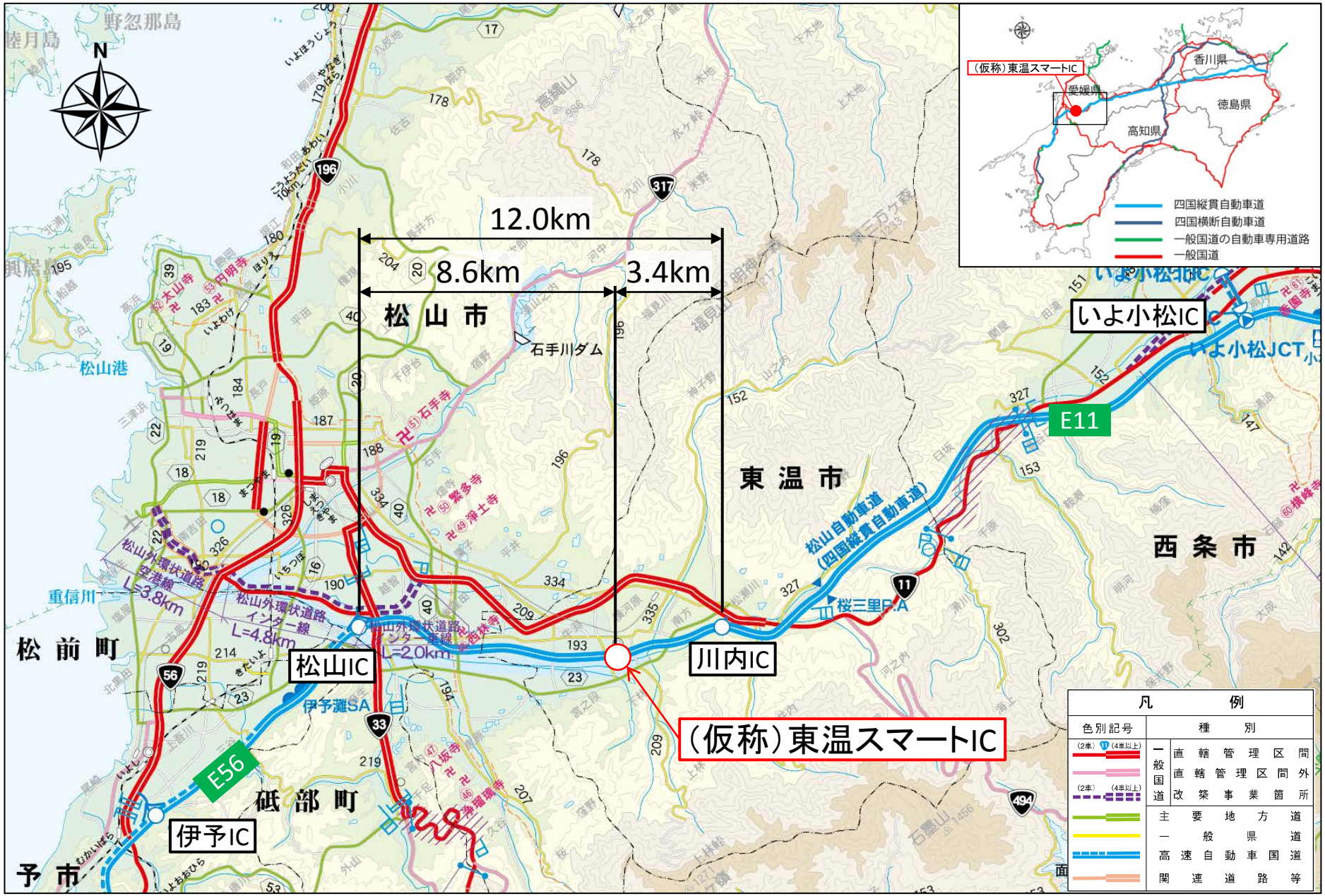
参　考　資　料：平成３０年８月１０日　国土交通省　道路局　記者発表
「高速道路会社への事業許可および
　スマートインターチェンジの準備段階調査の採択を行いました」

※本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.5 地域の自立的・持続的発展に向けた「資国」産業競争力強化プロジェクト】の取組みに関連します。

問い合わせ先：四国地方整備局 松山河川国道事務所
事業対策官：曽我部（そかべ）　豊（ゆたか）　（内線：２０８）
◎　計画課長：福田（ふくた）　尊元（たかもと）　（内線：２６１）
代　表　０８９－９７２－００３４
直　通　０８９－９７２－０４１５
ＦＡＸ　０８９－９７２－８１１７

◎：主な問い合わせ先

（仮称）東温スマートインターチェンジ　位置図



この地図の作製に当たっては、国土地理院長の許可を得て、同院発行の20万分の1地勢図を利用した。（承認番号平24四使、第4号）

参考資料

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

平成３０年８月１０日
道　路　局　高速道路課

高速道路会社への事業許可および
スマートインターチェンジの準備段階調査の採択を行いました

本日、別紙のとおり、新東名高速道路（御殿場ＪＣＴ～浜松いなさＪＣＴ）の６車線化およびスマートインターチェンジの新設について、道路整備特別措置法第３条に基づき、国土交通大臣より高速道路会社へ事業許可を行いました。

また、スマートインターチェンジについて、新たに６箇所で準備段階調査への採択を行いました。

別添①：高速道路会社への事業許可等について
別添②：新東名の６車線化について
別添③：スマートインターチェンジの新規事業化について
別添④：スマートインターチェンジの準備段階調査について
参考資料①：スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果
参考資料②：民間施設直結スマートインターチェンジについて

＜問い合わせ先＞
国土交通省　道路局　高速道路課
（事業許可全般について）　河村（内線：30308）、小島（内線：38352）
（スマートインターチェンジについて）河村（内線：30308）、祢津（内線：38362）

代表：03-5253-8111　直通：03-5253-8500　FAX：03-5253-1619

別添①

1. 高速道路会社への事業許可

① 6車線化関係

事業名		内容	事業主体
第二東海自動車道 横浜名古屋線	御殿場JCT～ 浜松いなさJCT	車線数の増（6車線化）	NEXCO 中日本

② スマートインターチェンジの新設関係

事業名		内容	事業主体
北関東自動車道	壬生IC～宇都宮上三川IC	下野スマートIC（仮称）	NEXCO 東日本 （下野市）
中央自動車道長野線	安曇野IC～麻績IC	筑北スマートIC（仮称）	NEXCO 東日本 （筑北村）
日本海沿岸東北自動車道	中条IC～荒川胎内IC	胎内スマートIC（仮称）	NEXCO 東日本 （胎内市）
中央自動車道西宮線	彦根IC～ 湖東三山スマートIC	多賀スマートIC（仮称）	NEXCO 中日本 （多賀町）
四国縦貫自動車道	川内IC～松山IC	東温スマートIC（仮称）	NEXCO 西日本 （東温市）
九州縦貫自動車道鹿児島線	鳥栖JCT～久留米IC	味坂スマートIC（仮称）	NEXCO 西日本 （福岡県）
近畿自動車道伊勢線	勢和多気IC～玉城IC	多気スマートIC（仮称）※	NEXCO 中日本 （多気町）

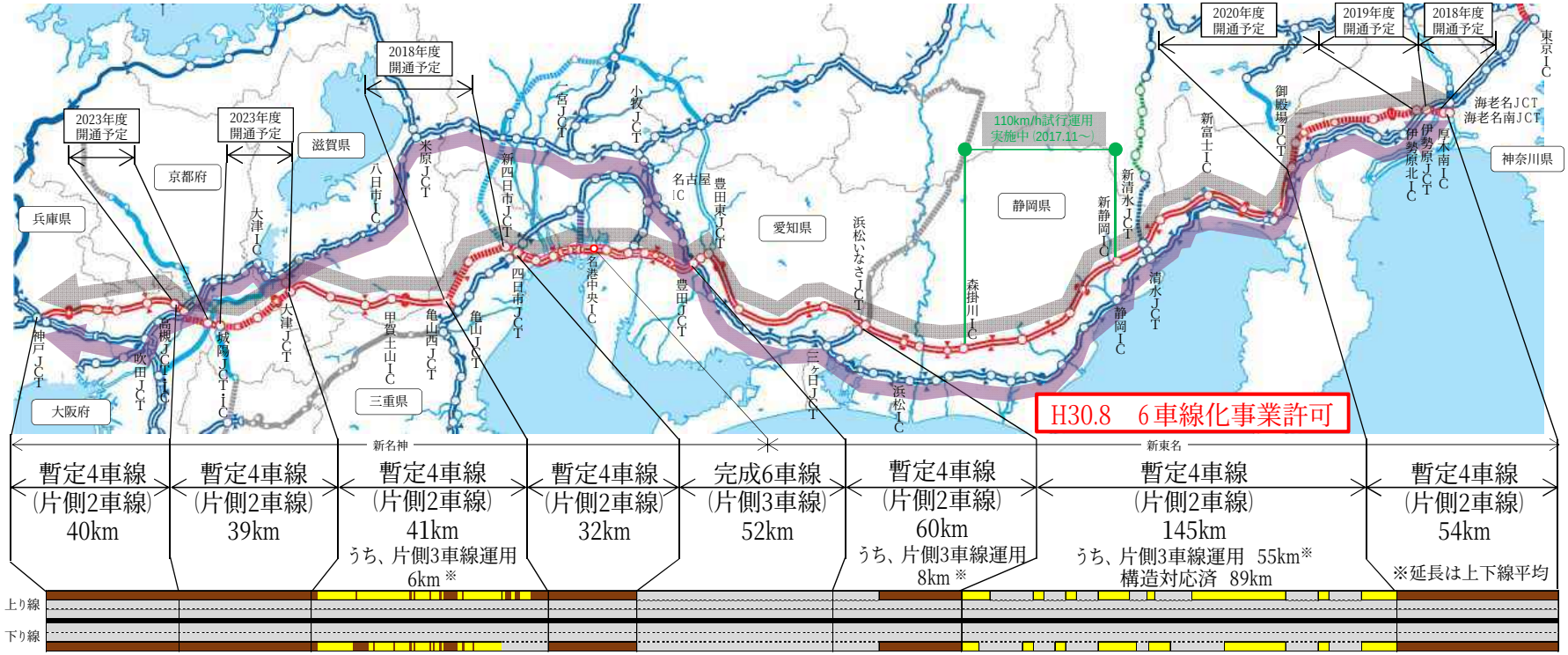
※民間施設直結スマートインターチェンジ

2. スマートインターチェンジの準備段階調査の採択

事業名		内容
東北縦貫自動車道弘前線	北上江釣子IC～花巻南C	花巻PAスマートIC（仮称）
東北中央自動車道相馬尾花沢線	山形上山IC～山形中央IC	山形PAスマートIC（仮称）
常磐自動車道	浪江IC～南相馬IC	小高スマートIC（仮称）
山陽自動車道吹田山口線	笠岡IC～福山東IC	篠坂PAスマートIC（仮称）
山陽自動車道吹田山口線	西条IC～志和IC	八本松スマートIC（仮称）
四国横断自動車道阿南四万十線	さぬき豊中IC～大野原IC	観音寺スマートIC（仮称）

新東名の6車線化について

別添②



構造物対応状況

	計画	供用	6車線運用中	6車線構造対応済【4車線運用】
新東名	289km	237km (82%)	90km (31%)	89km (31%)
御殿場JCT～浜松いなさJCT	145km	145km (100%)	55km (38%)	89km (61%)
新名神	174km	112km (64%)	28km (16%)	29km (17%)
亀山西JCT～大津JCT	41km	41km (100%)	6km (15%)	29km (71%)
合計	463km	349km (75%)	118km (26%)	118km (26%)

※率は計画延長より算出
※3車線運用、構造対応済み延長は上下平均
※四捨五入の関係で合計が合わない箇所がある
※延長には伊勢湾岸（豊田東JCT～四日市JCT）を含む

現況写真（御殿場JCT～浜松いなさJCT）

※今回の事業許可以外の区間については、高速道路会社において必要な調査を実施

スマートインターチェンジ※1新規事業化箇所 一覧表

別添③

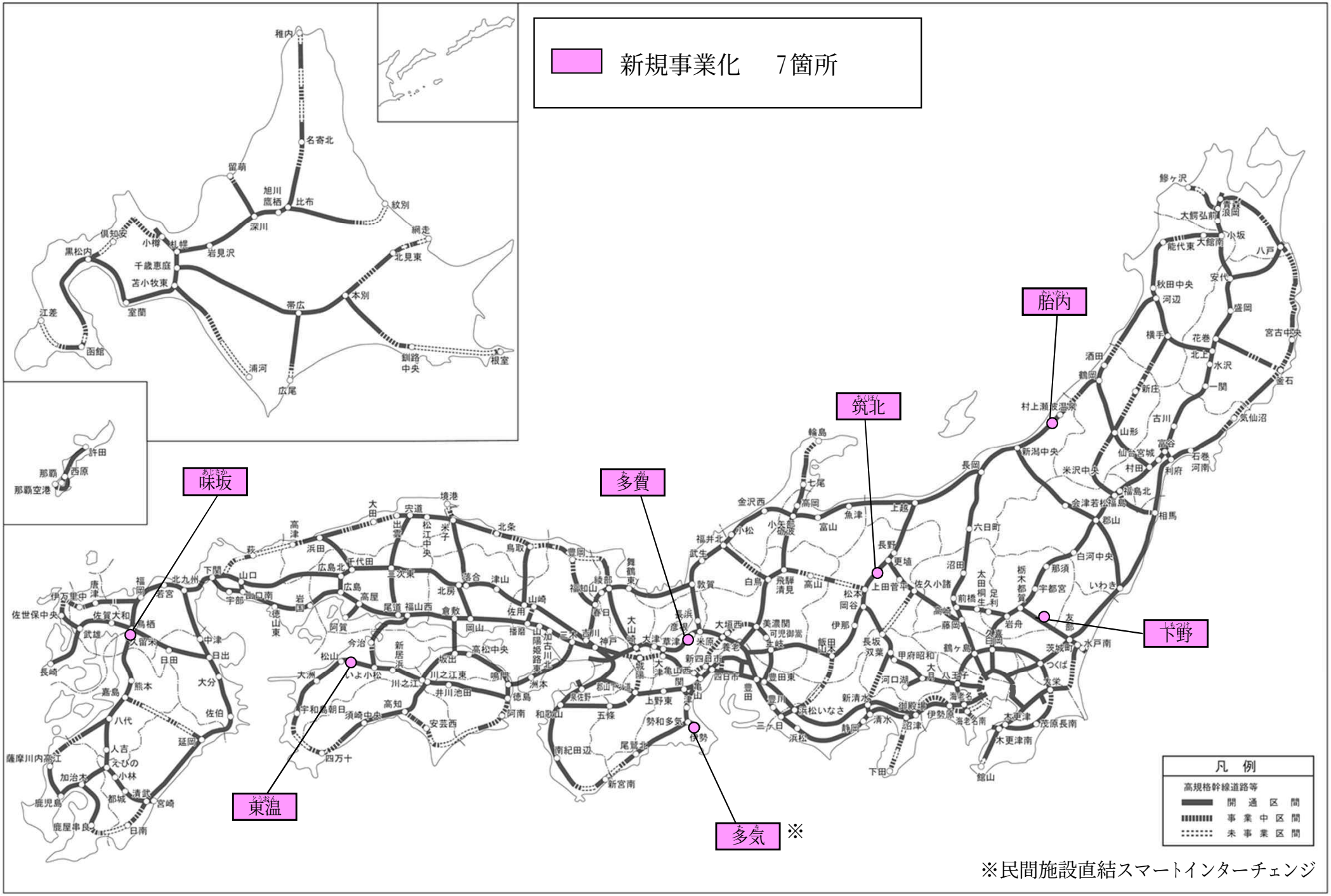
（単位：百万円）

スマートインターチェンジの名称（仮称）※2	連結位置	路線名	H30事業費※3
下野（しもつけ）	栃木県下野市	北関東自動車道（壬生IC～宇都宮上三川IC間）	9
筑北（ちくほく）	長野県東筑摩郡筑北村	中央自動車道長野線（安曇野IC～麻績IC間）	9
胎内（たいない）	新潟県胎内市	日本海沿岸東北自動車道(中条IC～荒川胎内IC間）	9
多賀（たが）	滋賀県犬上郡多賀町	中央自動車道西宮線（彦根IC～湖東三山スマートIC間）	9
東温（とうおん）	愛媛県東温市	四国縦貫自動車道（川内IC～松山IC間）	9
味坂（あじさか）	福岡県小郡市	九州縦貫自動車道鹿児島線（鳥栖JCT～久留米IC間）	9
多気（たき）※4	三重県多気郡多気町	近畿自動車道伊勢線（勢和多気IC～玉城IC間）	―

※1　スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、
　　専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。
※2　スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。
※3　事業費は高速道路機構への補助対象分であり、地方が整備する高速道路の区域から既設の一般道路までの道路などは含みません。
※4　民間施設直結スマートインターチェンジ
　　（高速道路と近傍に位置する大規模な物流拠点や工業団地、商業施設等の民間施設を直結するインターチェンジであり、民間企業の発意と負担により整備）

スマートインターチェンジ新規事業化箇所図

別添③



※民間施設直結スマートインターチェンジ

別添④

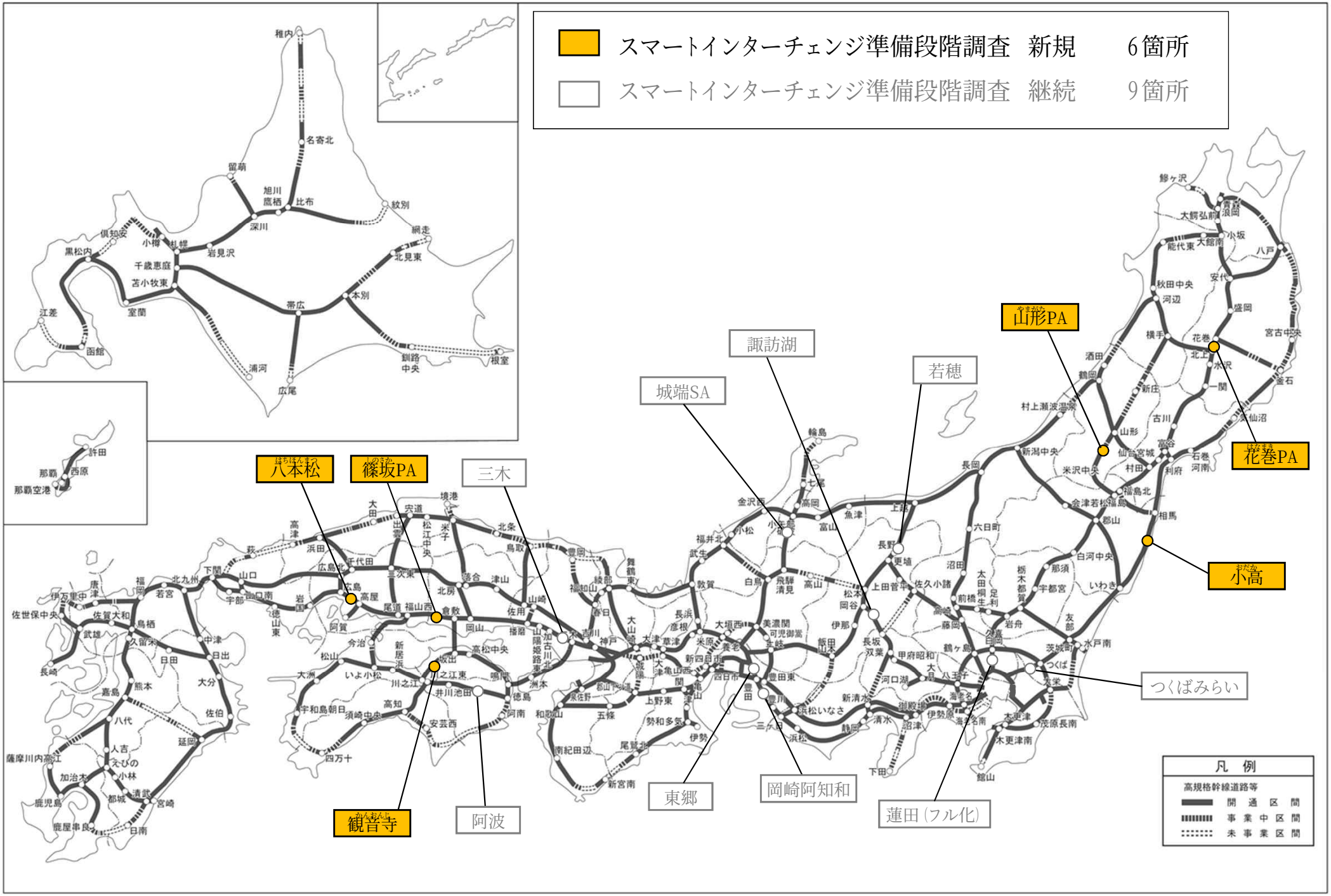
スマートインターチェンジ※1新規準備段階調査箇所 一覧表

スマートインターチェンジの名称（仮称）※2	検討位置	路線名
花巻（はなまき）PA	岩手県花巻市	東北縦貫自動車道弘前線（北上江釣子IC～花巻南IC間）
山形（やまがた）PA	山形県山形市	東北中央自動車道相馬尾花沢線（山形上山IC～山形中央IC）
小高（おだか）	福島県南相馬市	常磐自動車道（浪江IC～南相馬IC間）
篠坂（しのさか）PA	岡山県笠岡市	山陽自動車道吹田山口線（笠岡IC～福山東IC間）
八本松（はちほんまつ）	広島県東広島市	山陽自動車道吹田山口線（西条IC～志和IC）
観音寺（かんおんじ）	香川県観音寺市	四国横断自動車道阿南四万十線（さぬき豊中IC～大野原IC）

※1　スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、
　　専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。
※2　スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

スマートインターチェンジ準備段階調査箇所図

別添④



（参考）スマートインターチェンジの検討・整備について

別添④

○ スマートICの準備段階（地方での計画検討・調整段階）において、国として必要性が確認できる箇所等について、箇所を選定し、国が調査（直轄調査）を実施（準備段階調査）。
○ 準備段階調査における準備会での検討や調整が整い、関係機関で構成される地区協議会で決定された実施計画書が提出された箇所につき新規事業化。

地方での計画検討・調整

広域的検討
- ＩＣの必要性
- 周辺道路の現況・整備方針の確認　等

概略検討
- ＩＣの社会便益及び利用交通量
- ＩＣの位置・構造
- 周辺道路の整備計画　等

詳細検討
- ＩＣ及び周辺施設の詳細設計
- 整備費用及び負担区分
- 管理・運営方法　等

地区協議会の開催　（国・会社・地方自治体）
実施計画書の策定・提出　（地方自治体→国・機構・会社）

新規事業化　（国）
整備計画決定　（国）
連結許可　（国→地方自治体）

開　通

地方自治体での検討
（地整、会社で適宜応相談）

ICの必要性等の確認

準備会

国による準備段階調査
（直轄調査）

地区協議会

（事業実施）

国による整備補助
（機構への補助）

スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

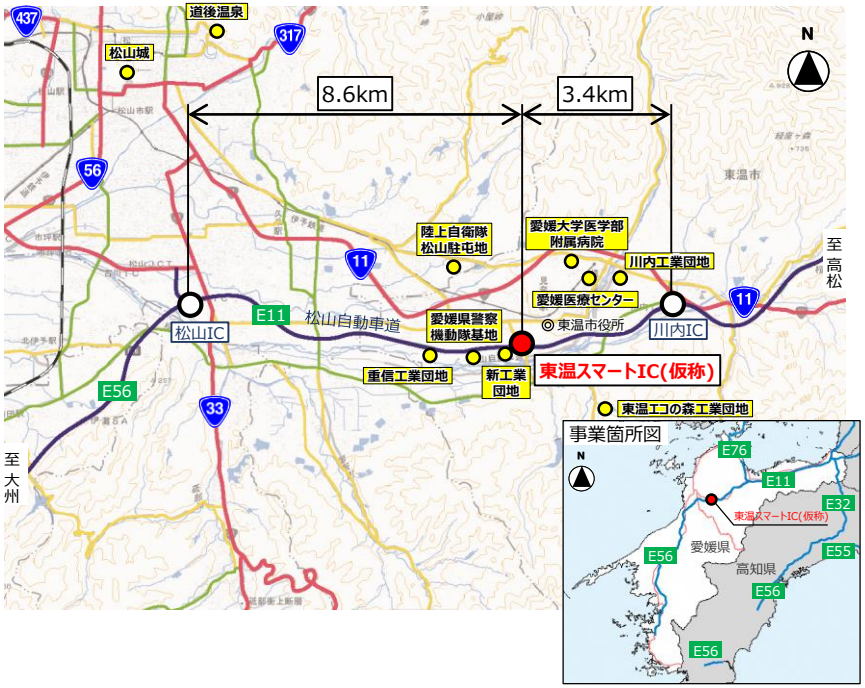
参考資料①

■松山自動車道　東温スマートIC（仮称）

＜概　要＞

路 線 名	：	四国縦貫自動車道 （川内IC～松山IC間）
設置場所	：	愛媛県東温市
接続形式	：	本線直結型
形　　式	：	全方向　（４／４）
運用形態	：	全車種　２４時間

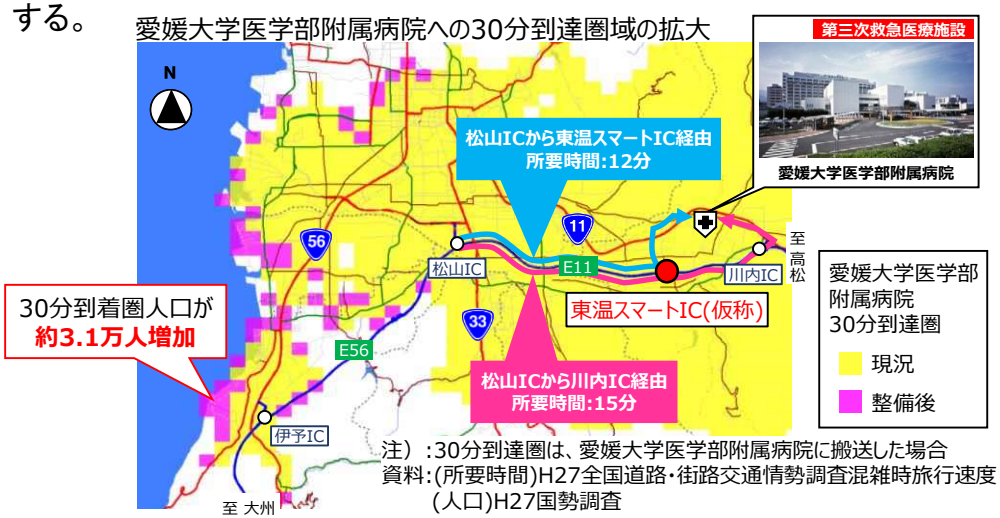
＜位 置 図＞



整備効果　救急医療活動への寄与

・東温スマートICの整備により、松山IC以西から第三次救急医療施設(愛媛大学医学部附属病院)への搬送時間が短縮し、医療サービスの向上に寄与する。

愛媛大学医学部附属病院への30分到達圏域の拡大

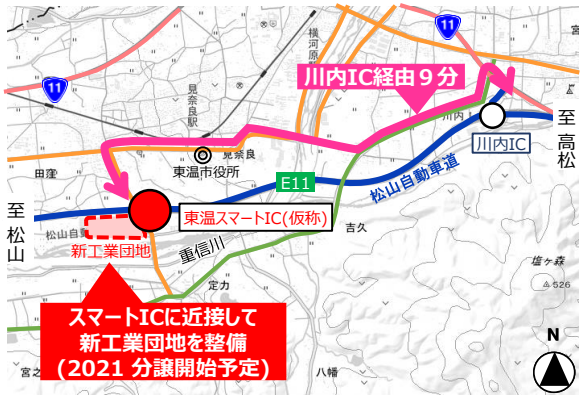


注）:30分到達圏は、愛媛大学医学部附属病院に搬送した場合
資料:(所要時間)H27全国道路・街路交通情勢調査混雑時旅行速度
(人口)H27国勢調査

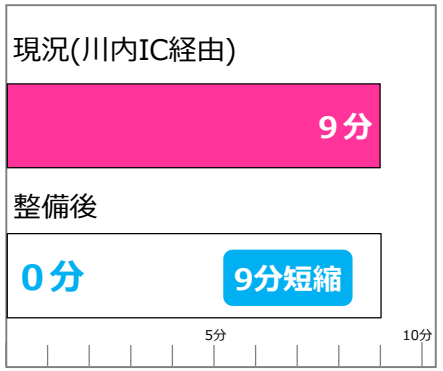
整備効果　地域産業の活性化

・東温スマートICの整備により、新たに整備される工業団地から高速道路へのアクセス性が向上し、企業誘致の促進・雇用創出など産業活動の活性化が期待される。

新工業団地とスマートICの位置関係



新工業団地から高速道路までの所要時間



資料:H27全国道路・街路交通情勢調査
混雑時旅行速度